

第6回 日台アジア未フォーラム「東アジアにおける知の交流―越境・記憶・共存―」
アンケート結果

開催日：2016年5月21日（土）

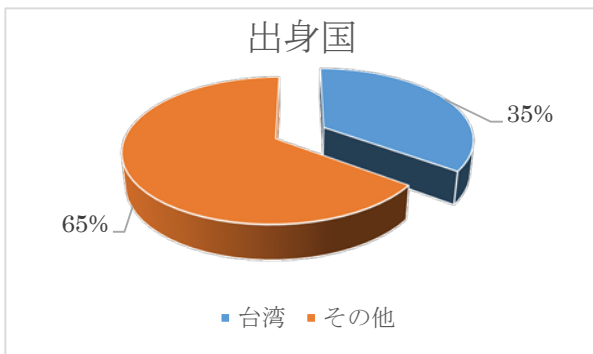
開催場所：文藻外語大学 至善楼 15階 國璽会議場

回収アンケート総数：20

【1】基本資料

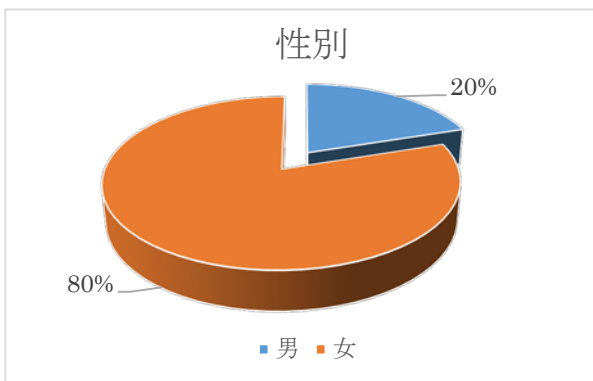
a. 国別参加者

台湾	7
その他	13



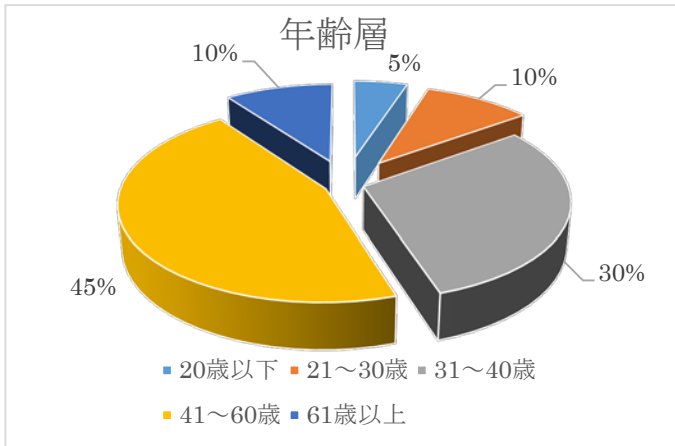
b. 性別

男性	4
女性	16



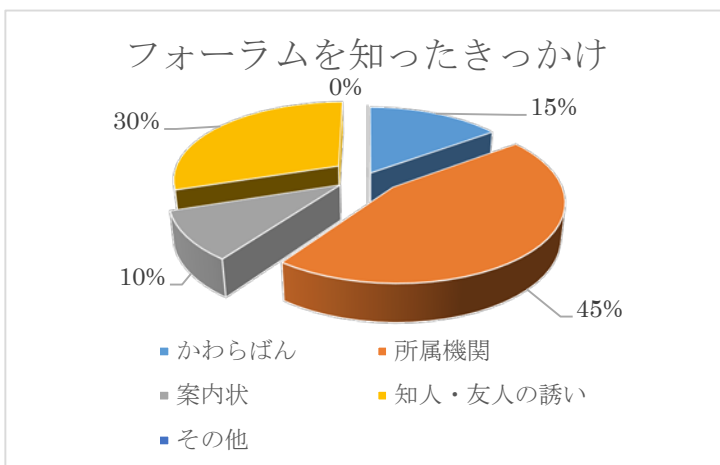
c. 年齢別

20歳以下	1
21～30歳	2
31～40歳	6
41～60歳	9
61歳以上	2



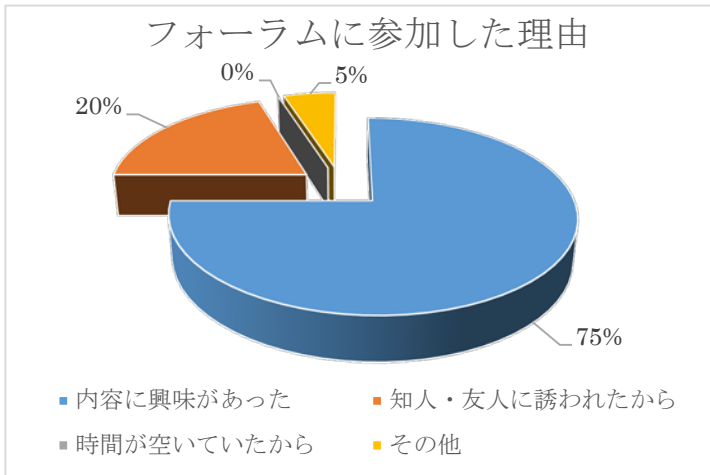
【2】フォーラムを知ったきっかけ

かわらばん	3
所属機関	9
案内状	2
知人・友人の誘い	6



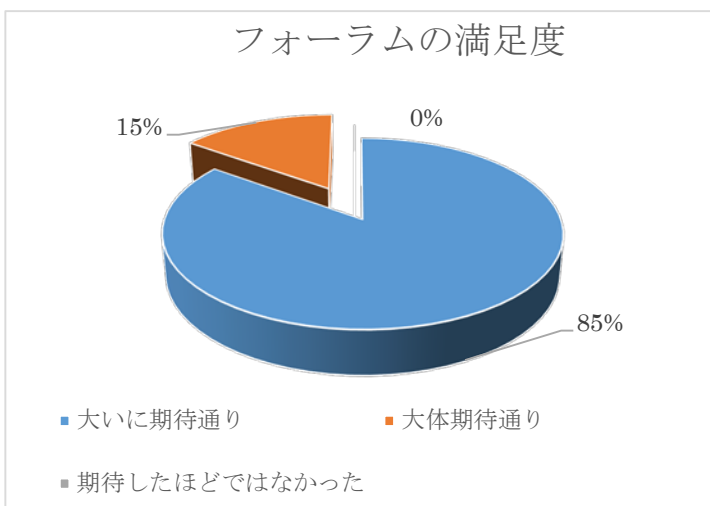
【3】フォーラムに参加した理由

内容に興味があった	15
知人・友人に誘われたから	4
時間が空いていたから	0
その他	1



【4】フォーラムの満足度

大いに期待通り	17
大体期待通り	3
期待したほどではなかった	0



他 自由記述、コメント等

- ・先生方の講話が興味深かった
- ・作家の東山彰良先生の講演、台日アジア未来というテーマに関心を持った。また、色々な有名な教授が来るから
- ・自分の関心と非常に密接に関係があり、東アジア問題研究の最先端でもあるから
- ・発表が時間通りに進行できるように心がけてほしい

自由回答欄

➤このフォーラムでどんなテーマ、あるいは何が一番印象に残りましたか？

- ・ 專題演講
- ・ 越境文学というテーマ
- ・ 東山彰良先生の講演
- ・ 「越境」の定義
- ・ 参加する前はそれほど意識していなかったのが、先生方の発表を通し、「越境」という言葉が深く印象に残っている。「越境」についてのイメージが変わった
- ・ 東山さんのお話しされたアイデンティティーに関すること
- ・ 渥美財団の存在、東山先生の講演はインパクトが強く、素晴らしかったです
- ・ 国家権力、越境、身分、少数者
- ・ 文学、哲学、教育など学際的な立場から東アジアにおける知の交流を議論する、といった研究フォーラムの設定について、印象深かったです

➤今後やってもらいたいテーマ、コメント等

- ・ 環境問題
- ・ 若い人達のアジア圏での活躍、理解しあう、交流、歴史を踏まえて
- ・ 今回と同様アジアに関するテーマーアジアの経済、文化、社会的なテーマもいいと思う
- ・ 具体的な文学において、「越境」がどういうふうに生成していくかについてもっと聞かせていただきたいです
- ・ 今回のテーマで、内容をさらに深めた（可能であれば）議題でのディスカッションを聞いてみたいです
- ・ 台湾と日本にまつわるテーマ
- ・ 越境文化・文学、歴史問題の再考
- ・ 日本教育、翻訳文学